



まちづくり団体の取り組み
～こんなことやってます～

まちづくりの停車場！？

まちの駅「たまり場・たろう」(筑西市)

茨城県西部の、のどかな田園地帯を走るまちづくりローカル線、その始発駅は「下館地域在宅介護を支える会」…

これは家族を介護する主婦たちが「ほっとひと息井戸端会議」と称して情報交換やストレス解消のおしゃべり会を1年ほど重ねるなかで、毎回提案されていた車椅子対応トイレの情報誌「福祉マップ」の作成を実現すべく、平成10年1月設立された任意団体です。

『福祉のまちづくり』という汽笛を鳴らしながら、スピードはそこそこに、50人ほどの乗客を乗せガタンゴトンと発車しました…

その後2年間の調査編集を重ね、念願の福祉マップ「ほっとタウンまっぷ・しもだて」を完成、

1500冊ほど発刊し、高齢の方や障害を持つ方々の外出時のトイレ探しや、バリアフリーなどの手引き書として利用していただきました。

その年、介護保険制度がスタートし、デイサービス利用の対象にならなくなったお年寄りにも楽しいひとときを、と「ほっとひと息サロン」を毎月開催。現在も「ほっとひと息井戸端会議」同様、まちの駅「たまり場・たろう」で引き続き開催し、世代間交流や仲間づくりを楽しんでいます。また、福祉映画「問題はこれからです」の上映会を開催し、その内容に感激、現場をこの目で確認したいとの熱い想いを胸に、夜行日帰りの弾丸バスツアーの企画を立て、福祉の先進地、秋田県鷹巣町へ視察に訪れました。



「ほっとタウンまっぷ・しもだて」

このとき見学させていただいた、街中に建つ「元気ワールド」という、町民の交流サロンは、我々がずっと思い続け、切望していた『住民のたまり場』としてたいへん参考になり、数年後に立ち上げた「ほっとひと息ステーション」や、まちの駅「たまり場・たろう」の刺激剤になったようです。地域への愛着心は、充実した人生の構築、とばかりにその後も数々の研修会などを重ね、支えあいのネットワークを広げてきました。そんな『福祉のまちづくり』へのワンステップとして、下館地域在宅介護を支える会では、歩く速度で街を楽しめる外出支援策「タウンモビリティ」を促進しています。年を重ねても、また、何かしらの障害を抱えたにしても、家に閉じこもることなく、電動カートに乗って自由に街を散策し、人と出会い、自然とふれあい、心豊かに暮らせることを願う、地域コミュニティを軸にしたふれあいまちづくりを目指すものです。一昨年完成した、しもだて地域交流センターの1Fフロアーにボランティアコーナーの許可をいただき、「ほっとひと息ステーション」として当会所有の電動カートを5台設置し、必要とされる来館者の方々にご利用いただいています。





それぞれの多様な価値観を認め合いながら福祉をキーワードとした活動を展開しておりますが、すべての出発点は地域住民のコミュニティから生まれます。そして、そのコミュニティづくりには交流拠点が必要不可欠となります。そんな長年の夢であった、地域を愛する純朴な人と人とを繋ぐ拠点として、すべての人のふれあいをベースにした住民参画型のサロン、まちの駅「たまり場・たろう」が昨年5月にうぶ声をあげました。

だれもが自由に立ち寄り、人と人、人と地域がいつのまにかとけ込み、元気の出るあたたかなまちづくりをコーディネートする場としてたくさんの人たちが生き生きと集い、交流を楽しんでいます。ここからさまざまな活動が生まれ『ほっとひと息まちづくり講座』として視野の広いネットワークが展開されています。



Yさんの手作りブローチ「はと地蔵」



A子さんの力作「はと地蔵」

そのひとつとして、地元商店街の有志の方々との新たな交流が生まれ、「はと地蔵」でまちの駅つながりが誕生しました。はとは、文化勲章受賞者板谷波山のおもいやりの心「鳩杖」の鳩、地蔵はのどかなあぜ道にたたずむ素朴な守り神としてすべての人の郷愁をさそうもの、そんなコンセプトのもとに生まれたイメージマスコットです。表情がすべて違ったオリジナルの手作りお地蔵様にもチャレンジし、粘土の素焼きで何体かできあがりしました。和布を使ったブローチも登場です。いずれも街を愛する地域住民の素朴な手作り作品です。

楽しみながら「福祉のまちづくり」を実践するちょっと変わったコミュニティ・ローカル線は、始発駅を出発してからたくさんの駅を通過し、たまには窓の外の景色に見とれたりもしながら、これからも走り続けます。

皆様もぜひ、まちづくりの停車場、まちの駅「たまり場・たろう」で一度下車なさってみてはいかがでしょうか。お待ちいたしております。



路地裏通りの「まちの駅 たまり場・たろう」

問い合わせ先

まちの駅「たまり場・たろう」

(下館地域在宅介護を支える会)

代表 小松崎登美子

〒308-0021 筑西市甲67

TEL. 090・1797・3045

FAX. 0296・28・0136(兼 TEL)